

2025 年 6 月 19 日
 豪州経済

 りそなホールディングス 市場企画部
 渋谷 和樹

日米欧 Market View:25 年 6 月豪州概況

関税不透明感払しょくされなければ、豪ドルの上値は限られよう

要約

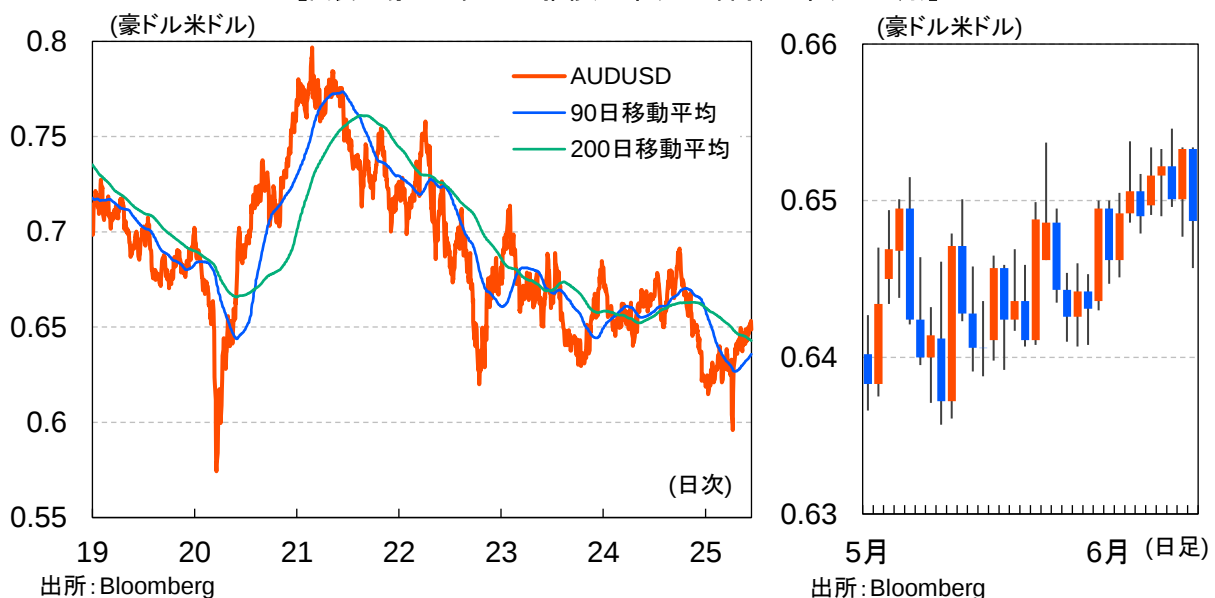
- 5 月の豪ドルは対ドルでやや上昇、対円は一時上昇も前月末比では横ばい圏で着地した。
- 対ドルでは 25 年末にかけて現状(1 豪ドル 0.65 ドル)程度で推移しそうだ。米関税政策の先行き不透明感が依然強い中、7 月の期限に向けた合意の進捗やその内容が豪ドル上昇の鍵を握ろう。
- 対円では米景気懸念や米ドル離れを受け円が買われやすい。関税に対する懸念が払しょくされれば再度日銀の利上げ観測が高まって、中長期的には上値が限られてくる展開を想定。

【為替】

豪ドルは対ドルでやや上昇、対円は前月比横ばい圏

5 月の豪ドルは対ドルでやや上昇、対円は前月末比概ね横ばいで着地した(図表 1,2)。対ドルでは、月初の総選挙で事前の予想に反し与党が大勝したことで安心感から豪ドルに買いが入ったほか、米中貿易協議の進展に対する期待感の高まりも相場を下支えた。対円は 12 日の米中関税合意を受けて一時 1 豪ドル 95 円台まで上昇も、その後は弱い米 CPI や米国債価格下げなどもあって円買いの動きとなり、豪ドル円でも再度 1 豪ドル 92 円台まで円高が進行した。

【図表 1: 豪ドル米ドルの推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 カ月)】

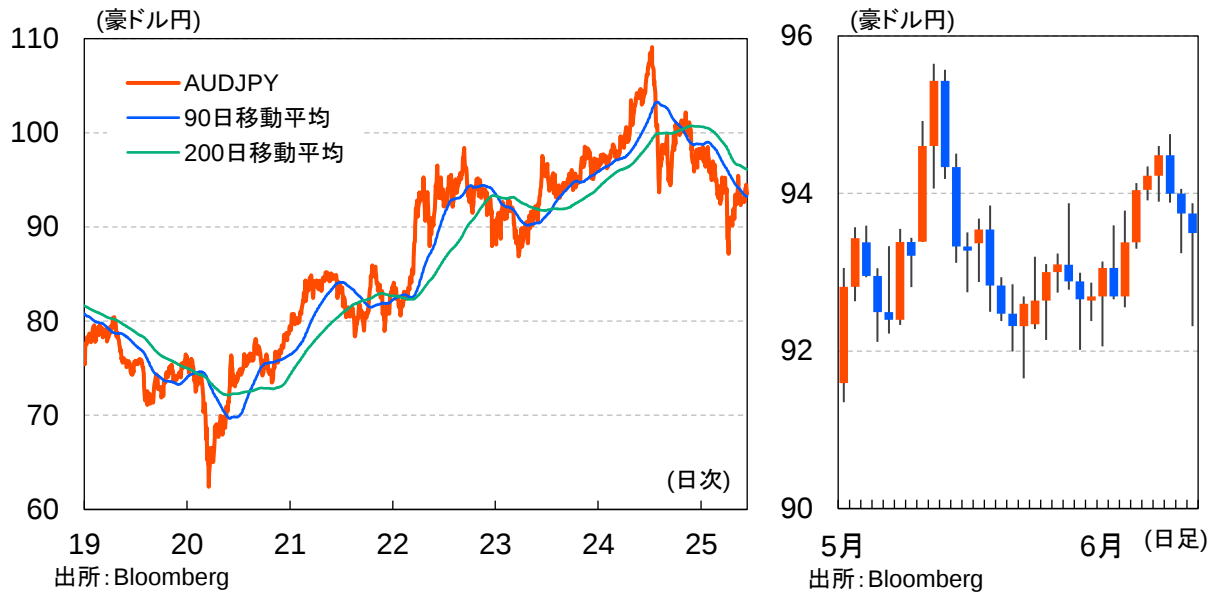


◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 2: 豪ドル円の推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 ヶ月)】

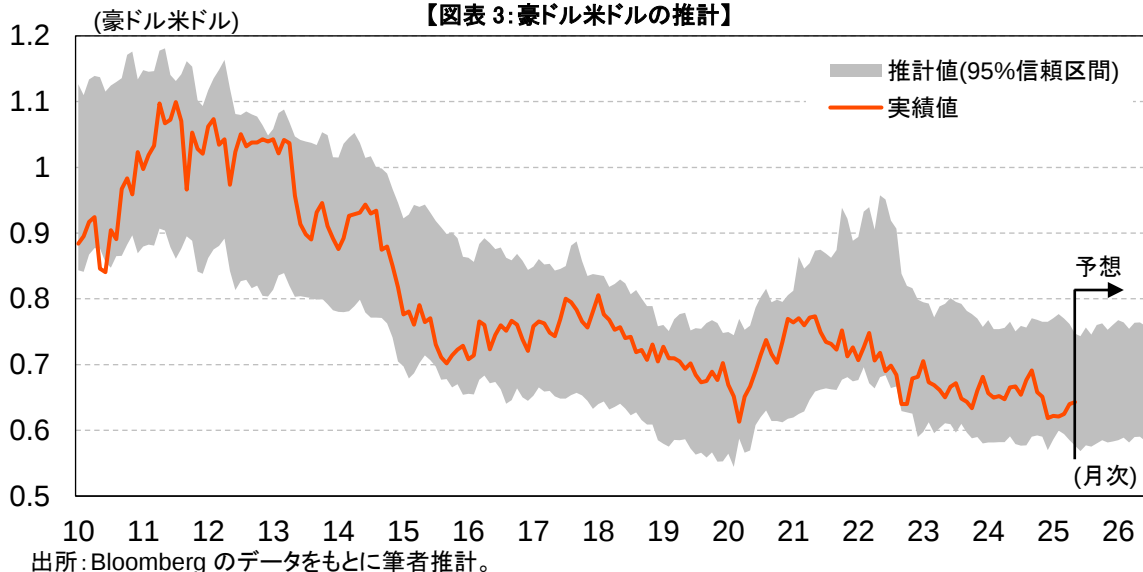


米国の関税政策などが引き続き下落リスク

6 月以降の豪ドルは、対米ドルは 25 年末にかけて概ね現状程度の水準で推移しそうだ(図表 3,4)。今月は米中貿易協議に対する楽観的な見方から 1 豪ドル 0.65 ドル台で堅調に推移も、イスラエルとイランの衝突による地政学リスクの高まりが嫌気されて足元では売り圧力が強まっている。米中の関税引き下げ合意を受け、米中貿易戦争が激化するシナリオが実現する可能性は低下したものの、依然として米国の関税政策に対する不透明感は強い。7 月の関税期限に向けて各国がどのような合意に至るのかが豪ドル上昇の鍵を握ろう。

対円は米景気懸念を受けたリスク回避や米ドル離れの円買いから、25 年夏ごろにかけては円が買われやすい展開を想定する。関税に対する不透明感が払しょくされれば次第に円買いの流れは一服しようが、一方で市場が不安定な状態を脱すれば来年にかけては日銀の利上げ観測が再び高まりをみせると考えられることから、中長期的に豪ドル円の上値は限られてこよう。

【図表 3: 豪ドル米ドルの推計】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 4: 豪ドルの為替見通し】

		7-9 月	10-12 月	1-3 月	4-6 月
豪ドル 米ドル	レンジ	0.60-0.68	0.60-0.68	0.62-0.70	0.62-0.70
	期末値	0.64	0.64	0.66	0.66
豪ドル 円	レンジ	84-96	86-98	90-102	90-102
	期末値	90	92	96	96

出所: りそなホールディングス

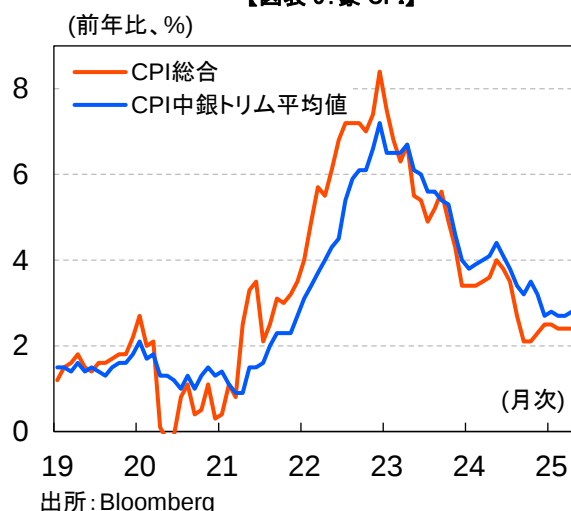
【景気】

物価・消費: 物価の基調は目標レンジ内も小幅加速

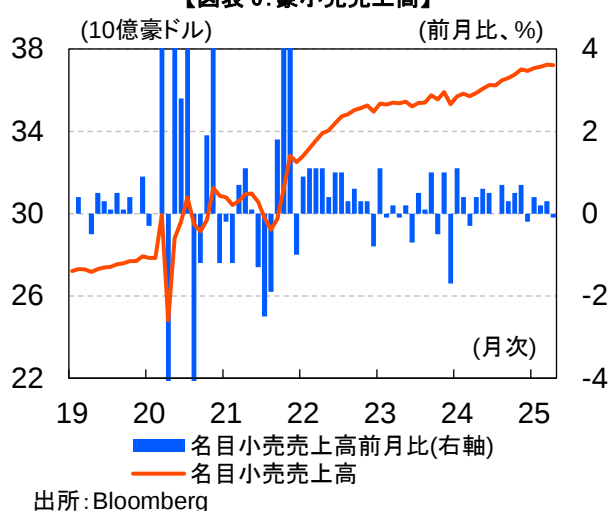
5 月 28 日に公表された 4 月 CPI 総合指数は前年比 2.4%、コア指標として豪中銀が重視するトリム平均値は前年比 2.8%だった。総合指数は物価目標のレンジである 2~3%の間で推移し、基調的な物価上昇率を示すトリム平均値も物価目標のレンジ内に収まってはいるが、市場予想を上回り、前月からは小幅に加速した(図表 5)。電気代の下落幅が縮小したほか、娯楽や観光などの伸びが全体をけん引した。また、今年後半には電気代抑制政策実施から 1 年経過することで、裏が出る形で一時的に総合インフレが再加速する可能性がある。

5 月 30 日公表の 4 月小売売上高は、前月比▲0.1%と市場予想(同 0.3%)を下回った(図表 6)。3 月末にサイクロンの被害を受けた地域では反動の消費増の動きもみられたが、気温が高く秋・冬物の衣類の売上が不調となったのをはじめに、消費底入れには一服感が出ている。

【図表 5: 豪 CPI】



【図表 6: 豪小売売上高】



雇用: 雇用者は小幅減少も非正規労働者の減少が寄与

6 月 19 日に公表された 5 月の雇用統計は、前月からの雇用者数変化が▲2.5 千人(市場予想: +21.2 千人)、失業率が 4.1%(市場予想: 4.1%)と、雇用者数の伸びは市場予想をやや下回った(図表 7)。内訳をみると、

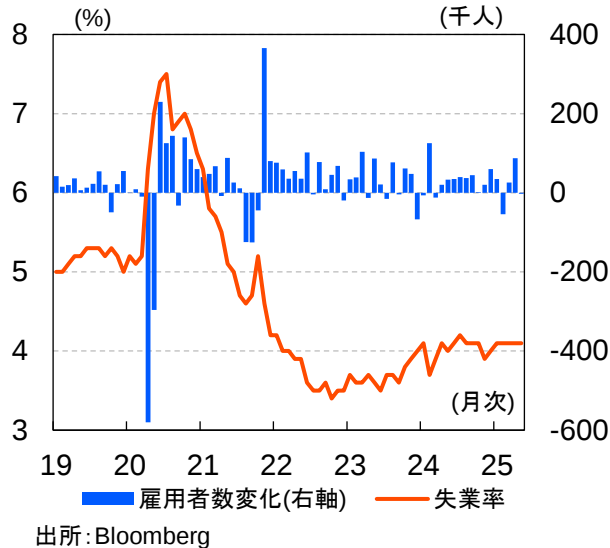
◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

非正規労働者の減少が大きくなった一方で女性の正規雇用者は前月に続いて増加しているほか、失業率は低位を維持しており、労働市場の緩和を示唆するものではないとみられる。

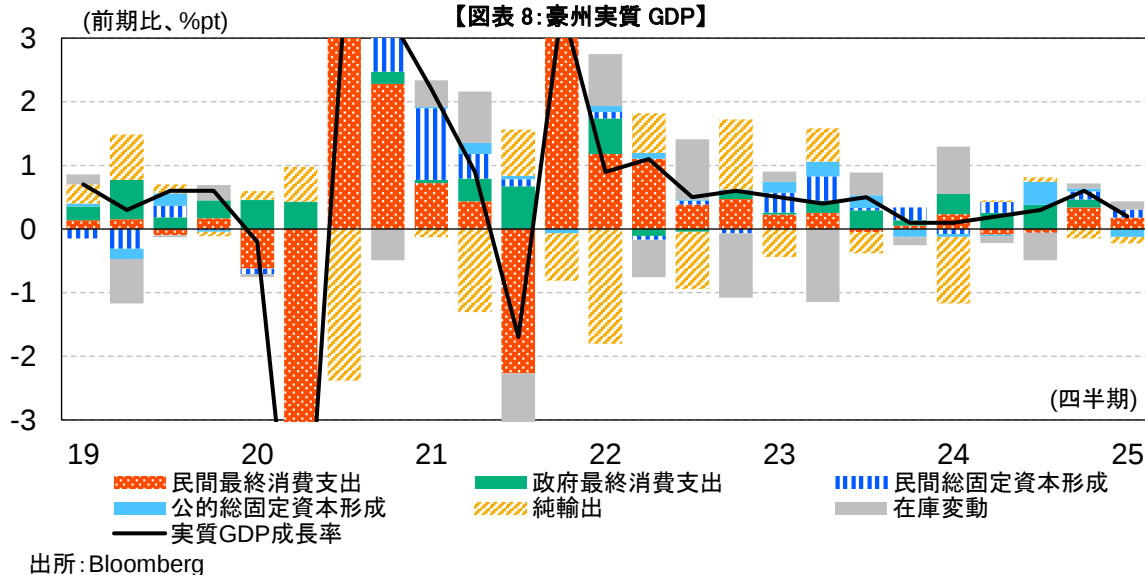
【図表 7: 豪雇用統計】



GDP 統計: 成長は減速、個人消費や輸出が下押し

6月4日に公表された25年1-3月実質GDP成長率は前期比0.2%と、市場予想(同0.4%)を下回り、前期(同0.6%)からは伸び率が減速した(図表8)。項目別の寄与度を確認すると、個人消費の減速や輸出の減少が全体の減速に寄与している。米国の関税政策によって豪州国内の景気先行き不透明感が強まり、個人が消費を手控える動きにつながったとみられる。また、米中貿易戦争に対する懸念の高まりを背景に、中国に対する資源輸出が一時低迷したことが輸出減少の大きな要因となった。

【図表 8: 豪州実質 GDP】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
172	2025/3/7	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
173	2025/3/12	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 3 月)
174	2025/3/13	米国経済	2 月米 CPI
175	2025/3/14	日本株	日本株需給(3 月 3 日~3 月 7 日)
176	2025/3/19	米国株	2025 年の米国株見通し(2025 年 3 月号)
177	2025/3/21	米国経済	3 月 FOMC
178	2025/3/24	日本株	日本株需給(3 月 10 日~3 月 14 日)
179	2025/3/28	日本株	日本株需給(3 月 17 日~3 月 21 日)
180	2025/4/1	日本株	日本株 3 月セクター動向と 4 月見通し
181	2025/4/4	日本株	日本株需給(3 月 24 日~3 月 28 日)
182	2025/4/4	米国経済, 日本株, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し
183	2025/4/10	米国経済, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し 2
184	2025/4/11	日本株	日本株需給(3 月 31 日~4 月 4 日)
185	2025/4/11	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 4 月)
186	2025/4/11	米国経済	3 月米 CPI
187	2025/4/15	米国経済, 日本株, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し 3
188	2025/4/15	コモディティ	25 年 3 月 WTI 原油先物価格
189	2025/4/17	豪州経済	25 年 4 月豪州概況
190	2025/4/18	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
191	2025/4/18	日本株	日本株需給(4 月 7 日~4 月 11 日)
192	2025/4/22	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 4 月)-特別号
193	2025/4/25	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(4 月 14 日~4 月 18 日)
194	2025/5/1	日本株	日本株 4 月セクター動向と 5 月見通し
195	2025/5/1	欧州経済	25 年第 1 四半期ユーロ圏 GDP 統計
196	2025/5/7	欧州経済	25 年 4 月ユーロ圏物価動向
197	2025/5/7	日本株	日本株需給(4 月 21 日~4 月 25 日)
198	2025/5/7	米国経済, 米国株	4 月 ISM 製造業景況感指数
199	2025/5/7	米国経済	4 月雇用統計
200	2025/5/8	米国経済	5 月 FOMC
201	2025/5/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 5 月)
202	2025/5/13	日本株	日本株需給(4 月 28 日~5 月 2 日)
203	2025/5/13	米国経済, 日本株, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し 4
204	2025/5/14	米国経済	4 月米 CPI
205	2025/5/16	日本株	日本株需給(5 月 7 日~5 月 9 日)
206	2025/5/20	豪州経済	25 年 5 月豪州概況
207	2025/5/23	日本株	日本株需給(5 月 12 日~5 月 16 日)
208	2025/5/26	欧州経済	25 年第 1 四半期ユーロ圏賃金動向
209	2025/5/28	コモディティ	25 年 4・5 月 WTI 原油先物価格
210	2025/5/29	米国株, 日本株	エヌビディアの決算とマーケットへの影響 FY2026 1Q
211	2025/5/30	日本株	日本株需給(5 月 19 日~5 月 23 日)
212	2025/6/3	日本株	日本株 5 月セクター動向と 6 月見通し
213	2025/6/3	米国経済	5 月 ISM 製造業景況感指数
214	2025/6/4	欧州経済	25 年 5 月ユーロ圏物価動向
215	2025/6/5	米国株	米国株 5 月レビューと 6 月見通し
216	2025/6/6	日本株	日本株需給(5 月 26 日~5 月 30 日)
217	2025/6/6	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
218	2025/6/10	米国経済	5 月雇用統計
219	2025/6/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 6 月)
220	2025/6/13	日本株	日本株需給(6 月 2 日~6 月 6 日)
221	2025/6/13	米国経済	5 月米 CPI

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。